

これからの人材育成の課題とその対応

～ 企業における社員教育の進め方～

第 116 回教育研究会（7 月 25 日開催）で『これからの人材育成の課題とその対応』について牧野経営労務コンサルタント事務所・所長牧野正雄氏より企業における社員教育の進め方についてご講演いただいた。

「社員教育」は経営の重要課題

経営環境の変化が激しく少子高齢化時代になって女性や高齢者の活用が急がれている、高度情報化時代となって超便利な世の中になったが対話が少なくなってストレスが溜まり心の病気にかかる人が増えたり、IT ボケという現象まで起きている。また、最近の若い社員の中には、職業

人に必要な基本マナーやプロ意識が不十分な点も見られる。このようなことから、「社員教育」のニーズは益々高まりつつあり、今や経営にとって最重要課題である。

社員教育の起点は「集合教育」

社員教育の基本は職場内教育であるが、指導者の力量にバラツキがあって上手くいかないため、このレベルアップが求められる。この解決方法として最も効果的なのが「集合教育」である。集合教育のポイント 経営計画に組込む ニーズを把握する 原則として上位層から始める プログラムに工夫 進め方に工夫 講師の人選などに留意し、計画的・継続的に実施することが重要である。階層別・職種別教育の研修例をあげて教育技法の特徴を含めて具体的な解説があった。

グループ討議で教育技法の体験

講義のまとめとして、教育技法を使って実際の社員教育の実施方法について体験した。当日ご準備いただいたテキストは、そのまま人材育成担当者のマニュアルとしても活用できる内容であり、参加者からも好評であった。

